# 第3学年1組 外国語活動学習指導案

令和元年11月26日(火)第5校時 英語ルーム 指導者 ALT

1 単元名 友達のためにサンドウィッチを作ろう! Let's make sandwiches for my friend!

#### 2 単元観

本単元では、「児童の身近な暮らしにかかわる場面」として、「食べ物にかかわる学習」を題材として取り上げる。コミュニケーション活動としては、食べ物を話題にして、自分や相手の好きな物を伝えたり、尋ねたりするインタビューを中心に行う。具体的には、児童の関心を高めるために、海外の食べ物を紹介する。食べ物に関する外来語と日本語を比較し、音声の相違点や共通点を知ることは、お互いの文化に気付き、理解することにつながる。次に、食べ物にかかわる表現を用いたコミュニケーション活動を通して「自分の気持ちや考えを伝え合う」ことで、友達やALTと「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」を育む。さらに、自分が食べ物を作るために必要な材料や個数について、互いに尋ねたり答えたりするコミュニケーションを通じて、思考力・判断力・表現力等、国際社会で求められるコミュニケーション能力の素地を養う。

本時のコミュニケーション活動では、自分が欲しい食べ物を伝えたり、相手が欲しい食べ物を尋ねたりする「ショッピング活動」を行う。外国語を用いて、コミュニケーションを図る楽しさを体験することを通して、学級の望ましい人間関係づくりにつながる。

モジュール(短時間)学習では、本単元でねらう「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度」と「コミュニケーション能力の素地」を育むために、食べ物に関する語彙や"What fruit/vegetable do you like?" "What do you want~?" "How many? "などの表現を用いたコミュニケーションに慣れ親しむ活動を設定する。週2回、モジュール学習で慣れ親しんだコミュニケーションをもとに、45分間の授業では、コミュニケーション活動を通して、相づちや反応を示し合いながら、自分や友達の考えを伝え合う。その活動では、児童が自信をもってコミュニケーションを図れるよう、また「分かち合うこと(コミュニケーションの原義)」の大切さと楽しさ(成功体験)を積ませる。

#### 3 児童観(略)

#### 4 指導観

パターン・プラクティス(表現習得のために繰り返し行う口頭練習)やダイアローグ(対話)の暗唱で終わることがないよう様々な活動を通して、児童が主体的にコミュニケーションを図り、表現や語彙にも慣れ親しむことができるよう工夫していく。指導に当たっては、「食べ物(野菜・果物)」を題材とし、「友達のためにサンドウィッチを作ろう」というゴールを児童に伝える。友達が喜ぶサンドウィッチを作るために、好きな物をインタビューし、お店での買い物のやり取りを通して、サンドウィッチの材料を集めるという目的をもたせながらコミュニケーション活動を進める。児童が目的意識をもって買い物ができるようにする。店員役と客役など役割分担を明確にするとともに、お互いに会話をする中で、コミュニケーションのポイントである声の大きさや視線の配り方、表情、反応の仕方についても指導する。

以上のような活動を設定することで、外国語(英語)によるコミュニケーションに「ふれる、慣れる、親しむ」という一連の活動の中で、ALT や友達と積極的にコミュニケーションを図る楽しさに気付かせ、自分の気持ちや考えを伝える活動を通して、児童の主体性や論理的な思考力・判断力・表現力及び行動力の素地を育んでいきたい。

#### 5 研究テーマとの関連

戸田市が	①誰とでも主体的に関わろうとす	②互いに気持ちや考えを英語	③豊かな国際性を身
育てたい	る子供	で伝え合う子供	に付けた子供
児童生徒像			
	・食べ物にかかわる表現を用いて	・ALTや友達と好きな物や欲	・外国の食べ物につ
本単元で	ALT や友達と積極的にコミュ	しい物について尋ねたり答	いて知り、日本以
本半儿で 育みたい	ニケーションを図ろうとする。	えたりしている。	外の国の生活に興
児童の姿	・ジェスチャーなどを使って、相		味を持っている。
児里の安 	手に反応しながらコミュニケー		
	ションを豊かに図ろうとする。		

戸田市の小学校「外国語活動」における CAN-DO リスト形式によるコミュニケーション学習の到達目標によると、「話すこと(やり取り)」の到達目標では、「自分の好きなことや身の回りの物について動作を交えて伝え合うことができる」ことを第3学年修了時の目標の一つとしている。本単元においては、ジェスチャーなどを使って、自分の好きな食べ物を伝えたり、友達の好きな食べ物を聞いたりすることが含まれている。

本市では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善と指導力の向上をテーマのひとつとして掲げ、全小・中学校で研究を進めている。そこで「戸田市立小・中学校 外国語指導と評価におけるルーブリック」を活用し、主体的・対話的で深い学びへの授業改善を図る。

本単元では、以下のルーブリック項目を主に授業改善を図る。

0 授業前の準備・確認を入念にしたか。	授業は英語で進められるよう、教室英語を活用し、
【授業力の視点】	明確な指示を出せているか。
1 子供が目標を理解し、課題に興味をもって取	コミュニケーションを行う目的・場面・状況等を
り組んでいたか。	明確に設定し、子供たちが「聞いてみたい」「自分
【目指すべき目標=評価規準及び評価基準を設	の気持ちや考えを伝えたい」「持っている情報を共
定して行う指導と評価の一体化】	有したい」と思わせるような具体的な課題を設定できたか。
2 子供が自分の考えを表現することができてい	コミュニケーションに必要な語彙や表現に習熟す
たか。 【主に主体的な学びの視点】	るための学習時間を十分に確保したか。
3 子供が友達の発言を受け止め、自分の意見と	相手や他者と主体的に関わり合う場面や状況を意
比べていたか。 【主に対話的な学びの視点】	図的に設定できたか。
4 子供が思考・判断・表現する活動を通して「見	「コミュニケーション能力は実際のコミュニケー
方・考え方」を働かせていたか。	ションを経験することによってしか身につかな
【主に深い学びの視点】	い」という考えのもと、3領域を関連させながら、
	統合的・総合的に指導できたか。
5 子供が「分かったこと」「やったこと」や「で	子供たちが「本時の目標に正対した振り返り」が
きたこと」など、学びの成果や課題を実感して	できるような場を設定したか。
いたか。  【学びの評価・振り返り】	

## 6 単元の目標等

- (1) 単元の目標
  - ・主な野菜や果物の言い方を知り、ALTや友達と積極的にコミュニケーションを図る。

【積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度(資質の育み】

・野菜や果物についての好き嫌い等を尋ねたり答えたりして、自分の気持ちを伝える。

【コミュニケーション能力(能力の育み)】

- ・外国の食べ物について興味をもつ 【言語や文化についての体験的理解・発信(気付きの育み)】
- (2) コミュニケーションにおける「言語の働き」
  - ・自分の考えや意図を伝える。
- (3) 表現
  - What fruit / vegetable do you like?
- · What fruit/vegetable do you want?
- How many fruits/vegetables do you want?
- (4) 主な語彙
  - ·果物 (strawberry, kiwi fruit, orange, banana, pineapple)
  - ·野菜 (onion, cucumber, lettuce, pumpkin, carrot, corn, tomato)

## 7 単元における評価の観点と評価規準

評価の	積極的にコミュニケーション	コミュニケーション能力(思	言語や文化についての体験的
観点	を図ろうとする態度(資質の	考・判断・表現の諸能力の育	理解・発信(気付きの育み)
	育み)	み)	
評価規準	・ALT や友達に好きな物や	・自分の好きな物や欲しい物に	・外国と日本の文化や、言い
	欲しい物を積極的に伝えよ	ついて答えている。	方と違いに気付いている。
	うとしている。	・相手の好きな物や欲しい物に	
		ついて尋ねている。	

## 8 単元の指導と評価の計画(全4時間扱い) 本時 3/4

過程	第1時	第2時	第3時	第4時
目標	外国の食文化を知り、日本	野菜や果物などの	ALT や友達に、何	友達に自分が作っ
	以外の国の食文化に興味を	英語表現に慣れ親	がいくつ欲しいか	たサンドウィッチ
	持つ。	しみ、自分の考え	積極的に伝えてい	を紹介する。
		を伝えている。	る。	
1あいさつ	Hello. How is the weather?	English Rule 確認	Today's Menu	
2 ウォーム	Hello, how are you? I'm	<u>~.</u>		
アップ	What food do you like?	like ∼.		
3 言語活動	【ふれる】	【ふれる】	【ふれる】	【ふれる】
[コミュニ	本単元のゴールを知り、学	ポインティングゲ	3ヒントゲーム	ミッシングゲーム
ケーション	習の見通しをもつ。	ーム	【慣れる】	【慣れる】
活動〕	【慣れる】	【慣れる】	○グループインタ	自分が作ったサン
	アメリカ、中国、韓国等の	野菜や果物などの	ビュー	ドウィッチ紹介の
	外国の食べ物を知る。	英語表現について	【親しむ】	練習をする。
	【親しむ】	慣れ親しむ。	友達が食べたいサ	【親しむ】
	外国の食べ物について慣れ	【親しむ】	ンドウィッチを作	自分が作ったサン
	親しむ。	友達の好きな物を	る。	ドウィッチを友達
		尋ねたり、自分が		に紹介する。
		好きな物を答えた		
		りする。		
4振り返り	評価規準に沿った振り返りをもとに、本時の学習について自己評価する。			
5あいさつ	Thank you. See you next time.			

## 9 本時(第3時)のねらい、評価観点、評価規準

- ・ねらい:自分や相手が欲しい物について、友達や ALT と積極的にコミュニケーションを図る。
- ・評価観点:積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度(資質の育み)
- ・評価規準:自分の欲しい野菜や果物や、相手の欲しいものについて、伝えたり尋ねたりする活動を通して、 友達や ALT と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

## 1 0 本時の展開 ※S:児童 HRT:担任 ALT:ALT

過程	○児童の活動	ティームティーチング		・指導上の留意点	◎教材
		HRT の活動 ALT の活動		◆評価規準と方法	

挨拶	〇日直の挨拶で授業を始める	Do		・これから活動が始まること
7分	S1(Today's Leader):Let's en			を意識させる。
	S:Yes!			・元気よく挨拶をさせる。
	S:Hello, Mr.			
	ALT: Hello.			
	S:Hello, Ms			
	HRT:Hello.			
	S:Hello, everyone!			
	HRT:How are you?			
	S:I'm fine!			
	ALT:How is the weather tod	lay?		
	S:It's sunny.			
	〇歌を歌う。			
	HRT:Let's sing the "Hello,so	ong" Are you ready?		
	S:Yes!	, ,		
	   Oスモールトーク			・コミュニケーションの約束
		ember Today's school	lunch menu?	(「アイコンタクト」「クリ
	ALT:Yes. We had (26 日の)	•	ranon mena.	アボイス」「レスポンス&
	HRT: I like apples very much		ジェスチャー」)を意識さ	
	ALT: I don't like apples. I lik	•		せる。
	HRT: Oh, you like (	). I like it too.		
	Everyone! What fruit d		ov talking.	
	2boys, 2girls. Are you	•	,,	
復習	〇野菜や果物の語彙に慣	<u></u> ・カードを提示す	・発言を促す。	・確実に定着できていない語
3分	れ親しむ。	る。		彙に絞る。
ふれ				◎絵カード
る				
展開	友達が喜ぶオリジナルサン		0	
5分慣れ	○本時のめあてを確認す	 ・めあての確認を		・本時のめあてを児童と確認
3	る。	し、掲示する。		する。
		- <b>( 134</b> ) - 20		, ,
	OHRT とALT のデモンスト	・ALT と一緒にデ	・HRT と共にデモ	・デモンストレーションの
	レーションをみて、活動内	モンストレーシ	ンストレーショ	後、役割を決めて、ALT、
	容や英語表現を確認す	ョンをする。	ンをする。(客	HRT の後に続けて発言さ
	る。	(店員役)	役)	せる。
		***************************************		
	〇グループインタビュー			

	【発話例】 A:Hello! B:Hello! A:How are you? B:I'm ~. How are you? A:I'm ~ . What do you wan B:I want onion. A:How many? B:One, please. A:O.K. Here you are. B:Thank you. A:You're welcome. See yo	Sorry, I don't have it.		
 親し	〇ショッピング活動			◎材料カード
税 む 2 5	サンドウィッチを作るために必要な材料を買いに行く。  【発話例】 A:Hello! B:Hello! A:What do you want? B:I want egg. A:How many? B:Two, please. A:O.K. Here you are. B:Thank you.	・ALT スを ・ALT スを が 重 が 重 が 重 を に で で に で の る の る の る の る 。 に で に で に で に の る 。 に で に の る 。 に に で に に に に に に に に に に に に に		・サンドウィッチのパン、ソース、中身の具材を調達するよう伝える。 ・店番と客に分かれて、活動を行り終っていると客に分かれて、かったが、早く作り終っている。 ・ではいいでは、よかったが、カードバックする。 ・世間が、カードが、カードが、カードが、カードが、カードが、カーをである。 ・世間が、カードが、カードが、カードが、カードが、カードが、カーが、カーでは、カーが、カーでは、カーが、カーでは、カーが、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは
	〇紹介タイム			ョンを図ろうとしている。
	友達にオリジナルサン ドウィッチを紹介する。	・ALT と一緒にデ モンストレーシ ョンをする。	・HRT と共にデモ ンストレーション をする。	【資質の育み】〈行動観察〉 【評価基準:A,B,C】 A:ジェスチャーを用い、相手 の言葉に反応しながら、積
	【発話例】 A:Hello! B:Hello! A:This is my original sand Look! (Two tomatoes a B:It's very good(nice)! A:Thank you.		).	極的に自分の欲しい野菜や果物を伝えたり、相手が欲しい野菜や果物を尋ねたりしようとしている。 B:積極的に自分の欲しい野菜や果物を伝えたり、相手が欲しい野菜や果物を尋ねたりしようとしている。

				C: 積極的に自分の欲しい野
				菜や果物を伝えたり、相手
				が欲しい野菜や果物を尋ね
				たりしようとしていない。
				・見えるもんを使って作った
				サンドウィッチを映しなが
				ら紹介させる。
振り	〇本時の学習で身についた	・児童が欲しい物	・児童の活動を称	
返り	ことを確認する。	を買えたかどう	賛する。	
5分		かを確認する。		
	○振り返りカードを書く。	・児童の活動で好		
		ましい変容や相		
		手に反応を示し		
		ていた活動につ		
		いて総括する。		
挨拶	HRT: That's all for today.			・元気よく挨拶させる。
	Did you enjoy comm	unication?		
	〇日直が号令をかける。			
	S: Thank you, Mr			
	Thank you,Ms			
	Thank you, everyone.			
	See you next time.			
	ALT:See you.			

# 11 板書計画

